

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 浦 西

作成日：令和 6年 12月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点・課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	47	事故(誤薬)発生時の報告書は職員にて記入し、主治医や家族への連絡をマニュアルを基に行っている。また再発防止のため職員同士で話し合いを行っているが、その際の記録が未作成だった。	事故発生時は報告書の作成を行うと同時に再発防止の会議時に議事録の作成を行う。マニュアルについてもチャートを簡素化し、わかりやすく一連の流れを全職員が周知・理解できるように見直しを行う。	事故発生時はその当日、遅くても翌日までに再発防止の検討会議を開催し議事録を作成する。現在苦情・相談・事故についてのマニュアルを使用しているが、事故発生時に特化したマニュアルを作成する。	1 か月
2	34	急変や事故発生時の報告書は職員にて記入し、主治医や家族への連絡をマニュアルを基に行っている。また再発防止のため職員同士で話し合いを行っているが、その際の記録が未作成だった。	急変時は報告書の作成を行うと同時に再発防止の会議時に議事録の作成を行う。マニュアルについてもチャートを簡素化しわかりやすく一連の流れを全職員が周知・理解できるように見直しを行う。	急変時はその当日、遅くても翌日までに再発防止の検討会議を開催し議事録を作成する。現在苦情・相談・事故についてのマニュアルを使用しているが、急変時に特化したマニュアルを作成する。	1 か月
3	6	身体拘束廃止適正化検討委員会は事業所内にて研修内容、研修報告書を整備している。また運営推進会議時(二ヶ月に一回)にて外部委員との開催を行っているが、その際の議事録の整備が不十分であった。	運営推進会議開催時を活用して開催する身体拘束廃止適正化検討委員会の議事録を詳細に記録する。	今後運営推進会議開催時の身体拘束廃止適正化検討委員会について、検討内容・検討成果を記録する。	1 か月
4	7	虐待防止については定期的に事業所全体、管理者、職員一人ひとり自己点検シートで実施している。改めて虐待防止に関する研修を実施する。	利用者の方が居室より職員を呼ぶ際のナースコールが現在設置されていない状況があるので、提案にもあった鈴等で職員を呼べるように環境を整備する。また年度内に虐待防止についての研修を行う。	利用者の方が職員を呼べるように居室毎に鈴を設置する。2月に虐待防止についての研修を予定している。	1 か月
5	12	現状の就業規則にハラスメント防止の規定が不十分であった。	就業規則にハラスメント防止の条項を追記し作成する。	就業規則へ条項を記載し、法人内で職場におけるハラスメント防止についての周知・理解を進めるため研修を行う。	2 か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。